

2020
秀作

第53回「おかねの作文」コンクール

僕の買い物リストの上位はこれ

埼玉県・立教新座中学校 1年 佐々木 一翔

新しい本が欲しい。ゲームが欲しい。角がとがった消しゴムが欲しい。僕には欲しいものがたくさんあります。その中でも今挙げたものは全て形に見えるものです。しかし、お金で買えるものは目に見えるものばかりではありません。中学生になった僕が一番お金を使いたいのは目に見えないものです。今までの僕は自分の好きなものを買うお金を貯めるために色々な事を我慢してきました。

1週間ほど前ショッピングモールに行った時に、とても美味しそうなケーキ屋さんを見かけた時のことでした。そこは、いつもより少し高いケーキ屋さんでした。

「美味しそうだね。買っていこうよ。ねえ、どのケーキにしようか。」

お母さんが楽しそうに僕に話しかけました。僕もケーキを選ぼうとしたその時、ある考えが浮かびました。ケーキを我慢すればあのかっこいいボールペンが買えるのにな。

「お母さん、僕いらない。ケーキを我慢すればあのペンが買えるから。お母さんだけ買っていいよ。」

僕は言いました。するとお母さんは悲しそうな顔をして、

「お母さんも買わない。一人で食べるのはつまらないよ。」

と言いました。僕は食べたいのなら買えばいいのにと不思議に思いました。帰った後僕ははっとしました。お母さんはケーキが欲しかっただけじゃなくて僕と一緒にケーキを食べる楽しい空間も買おうとしていたのです。ケーキと一緒に食べて美味しいと共感する時間はケーキ以上の価値があり、お金にとっても代えがたいものだと思います。

ある日、僕がコンビニに行った時の話です。コンビニのレジの横には募金をするための箱がありました。それは、僕と同じ年ぐらいか、それより年下の子どもを助けるための募金でした。気になってはいるけれど、僕が募金したぐら

いで変わらないと考え、いつものように素通りしました。

「ねえお母さん、募金ってどれぐらいしたら子どもたちが助かるの？」

帰ってから気になってお母さんに聞いてみました。

「あなたが募金するだけで変わるわよ。ほら、今日買ったアイスのお釣りの2円。それだけで命を助ける事につながるのよ。」

お母さんが答えました。いやいやいやいや、大げさでしょと思い、本当に2円で僕が助けられるのか、募金でどのような支援物資が調達できるか調べてみました。「ビタミンAカプセル1錠2円」僕は目を疑いました。その他にも「微量栄養素パウダー 30袋 70円」等、僕が持っているお金でも十分に誰かを助けることができると知りました^{注)}。今まで僕は、募金はお金持ちやお金に余裕のある人がするものなのだと思っていましたが、ほんのわずかなお金でも、1円でも2円でも人を助ける事ができるのだとわかりました。

僕は自分のためだけにお金を使う事も良い事だと思います。しかし、今回お金で買うことのできるものの新たな選択肢を知りました。それは二つあります。一つ目はものを通じての大切な人とのひとときであったり、貴重な時間であったり、思いを共有する空間です。二つ目は、会った事の無い誰かの命を助ける事ができ、又、人のために自分も何か出来るという気持ちを得る事ができるということです。

一生懸命お父さんが稼いで僕にくれるお金。自分で一生懸命稼ぐであろうお金。おばあちゃんからもらうお金など、いろいろお金は手に入れる事ができます。ですが、お金の使い道はたくさんあり、よく考えて使う事が大切です。今回、僕はよく考えました。僕の買い物リストの上位は今、目に見えないもので埋まっています。次は、僕のお金を誰と使おうかな。

(注) 公益財団法人日本ユニセフ協会 「みなさまの募金・寄付でできること」

URL https://www.unicef.or.jp/cooperate/coop_support.html

閲覧日 2020年8月22日